

## 4 調査、研究報告及び資料・情報等の発行

### (1) 公刊した報告書等

報告書名	発行年月	備考
平成30年度青森県産業技術センター水産総合研究所事業報告	令和2年11月	
令和元年度青森県産業技術センター水産部門事業概要年報	令和2年7月	
2020年度浅海定線調査結果報告書	令和3年3月	

### (2) 提供情報

情報名	期間及び回数
ウオダス漁海況速報 No. 2054～2089	2020年4月～2021年3月 (36回、号外35回)
陸奥湾海況情報 No. 1284～1339	2020年4月～2021年3月 (52回)
ホタテガイ採苗速報 No. 698～716	2020年3月～2021年3月 (19回)
ホタテガイ養殖管理情報 No. 188～196	2020年7月～2021年3月 (9回)
貝毒発生状況等速報	2020年4月～2021年3月 (30回)
陸奥湾の水温 (東奥日報紙)	2020年4月～2021年3月 (毎日)
2020年ヒラメ稚魚分布密度調査結果について	2020年7月～9月 (太平洋3回、日本海4回)
陸奥湾湾口海域のイカナゴ幼魚(コウナゴ)分布調査結果について	2020年5月 (6回)
イカナゴ類夏眠場調査について	2020年9月～10月
令和2年(2020年)漁期のハタハタ漁獲対象資源量の予測結果	2020年10月、11月(各1回)
付着生物(ユウレイボヤ等)ラーバ情報	2020年10月～2021年3月 (12回)

### (3) 青森県水産研究情報 水と漁

発行番号	発行年月
第34号	2020年7月
第35号	2020年12月
第36号	2021年3月

### (4) 発表論文等

#### ①学会等での発表

- 1) 秋田佳林：陸奥湾におけるホタテガイへい死原因の解明と対策. 令和2年度日本水産学会東北支部大会ミニシンポジウム. (2020.10)
- 2) 杉浦大介：青森県日本海におけるウニ2種の資源状態. 令和3年度日本水産学会春季大会. (2021.03)

- 3) Daisuke Sugiura: Seasonal production of atretic oocytes in the Manila clam *Ruditapes philippinarum* in northern Japan. National Shellfisheries Association 113th Annual Meeting. (2021.03)

## ②その他の投稿

- 1) Katayama S, Hong Z, Yamamoto M, Miyagawa T, Sugiura D. Age and growth of the horse clam *Tresus keenae* in Seto Inland Sea and Ise Bay, western Japan. Journal of Shellfish Research 39(2), 313-320. (2020.08)
- 2) 高 偉峰, 中屋光裕, 高津哲也, 竹谷裕平, 野呂恭成: 下北半島周辺および噴火湾で採集されたキアンコウ仔魚の食性, 水産増殖, 68(3), 275-277 2020年9月.
- 3) 高津哲也, 中屋光裕, 神山晃汰, 亀井佳彦, 小林直人, 飯田高大, 野呂恭成: 陸奥湾における1989-2019年マダラ着底稚魚分布密度調査による加入量予測, 水産海洋研究, 84(3) 2020年.
- 4) 高偉峰, 中屋光裕, 高津哲也, 竹谷裕平, 鈴木亮, 野呂恭成: 津軽海峡周辺におけるキアンコウの初期生態, 水産海洋研究, 84(3), 2020年8月.